

学校だより・あすなる

校長 田崎俊一郎



1年間のまとめ 修了式!

先週の寒さを乗り越え、ようやく訪れた暖かさにこたえるように梅や桃の花も開き始めました。なかなか来ない春を花々が早く来いと招いているようです。自然は忘れることなく、私たちに希望の春を届けてくれています。季節の移り変わりは、学校生活の時間の流れも感じさせます。いよいよ令和6年度田平北小学校も本日修了式を迎えました。

「いい顔」「いい声」「いい心」の3つの輝きをめざしてスタートした令和6年度、子どもたちは毎日の学校生活の中で確実に成長し、力を付けることができました。



「いい顔」…できた・わかったの顔

学校生活の中心となる授業では、日々の授業の中で、友達の考えとの共通点やちがいに気づき、考える姿が見られました。平戸市が行った学力調査では、全体の半分の学年が昨年度の結果を上回ることができました。また、授業中では、たとえばはじめはできずとも、何度も繰り返し、できるまであきらめず学ぶ子どもたちの姿が見られました。受け身的な学習態度ではなく、自ら進んで学ぶ、主体的な学びの姿勢が見られつつあります。これらのことから北小が目指してきた「できた、わかったのいい顔」が達成できたと感じています。学ぶ土台はできました。これからはさらに個に応じた学習ができればさらに北小は力を付けられます。学校全体で取り組んでいる ICT 機器の活用や読解力の向上を柱としながら今後も子どもたちが力を付けられるよう指導をします。



「いい声」…規律ある生活態度

あすなる運動を中心に規律ある生活態度の育成に取り組みました。挨拶や整理整頓、落ち着いた生活態度の育成など、日々の生活の中で子どもたちに意識させてきました。挨拶については、時と場、相手意識をもった挨拶ができつつあります。整理整頓については教室環境の整備をはじめ、身の回りを整えることにより集中力をもち、じっくりと取り組むことができるようにしてきました。また、静かな廊下歩行などについても子どもたちの意識は高まりつつあります。これら規律ある生活態度は、簡単に身につくものではありません。毎日の生活の中で意識させることで行動から習慣となります。意識せずできる習慣となるよう今後も取り組んでいきます。



「いい心」…思いやりのある心

北小の玄関にある“ありがとうの木”がどんどん大きく成長したように感謝の気持ち、相手を思いやる「いい心」も育っています。授業においても、グループ活動等の協働的な学びの中で互いのことを考えることができています。また、縦割り活動等、学年を超えた集団の中で、教え導き合う姿勢も育ってきています。遠足や運動会、そして先日行った卒業式など、学校行事の多くは互いに協力し合ってこそ成り立つものです。今年度実施した多くの学校行事がその目的を達成できたことから、北小が目指す「いい心」が子どもたちの心の中にしっかりと育っていると感じます。「いい心」をもつには、まずは、互いのことを知り、相手の立場に立って考えることがとても大切です。“感謝と相手意識”、これからは大切に育てていきます。

3月は入学あるいは進級してからの1年間で、どのように子どもたちが成長したかを振り返る時期です。それと同時に次年度に向けて準備をする期間となります。慣れた環境とは違い、友人との別れや新しい出会いがあります。自分自身をさらに成長させるためにも、新たな決意をもって夢や未来に向かってチャレンジしてほしいと願っています。

保護者・地域の皆様にはこの一年間本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。今年度は本校創立150周年を迎え、それに関わる多くの取組の中で保護者の方、地域の方の北小に対する期待や伝統を引継ぐことの意味を深く考えることができた一年間となりました。北小は151年目の新しい年へ向かいます。来年度も引き続き本校教育活動への変わらぬご協力をよろしくお願いいたします。